

洛和会音羽病院

地域連携ニュース



2

〒607-8062 京都市山科区音羽珍事町2 TEL 075 (593) 4111(代) <http://www.rakuwa.or.jp/>

2018 February

おとわの専門医 神経内科

新任のごあいさつ

経験を生かし、 地域医療の貢献に努めます



洛和会音羽病院 神経内科 副部長 和田 裕子

2017(平成29)年12月1日から洛和会音羽病院の神経内科副部長に着任いたしました。1992(平成4)年卒の和田裕子と申します。前任地は、川崎医科大学の脳卒中医学教室で、2年8カ月の間、脳卒中の超急性期診療、若手医師や学生教育に従事しておりました。川崎医科大学附属病院は、日本のドクターヘリの発祥の地であり、特に冬季は、鳥取県境の山間部から瀬戸内海の島にいたる広範囲の医療圏の患者さまをヘリで搬送し、診療にあたっておりま

した。川崎医科大学附属病院赴任までは、一般神経内科医として西神戸医療センター、天理よろず相談所病院、済生会中津病院で勤務しておりました。脳卒中専門医のほかに、総合内科専門医・指導医、神経内科専門医・指導医、認知症専門医・指導医も取得しておりますので、脳卒中に限らず、幅広い神経疾患に対応させていただき地域医療に貢献したいと考えております。これから、よろしくご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。



食道内圧測定検査で 食道運動障害が 明らかになります

洛和会音羽病院 副院長 消化器病センター所長 **あしだ きよし 蘆田 潔**

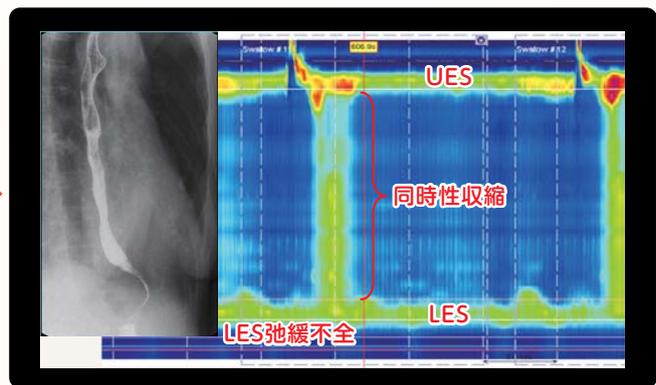
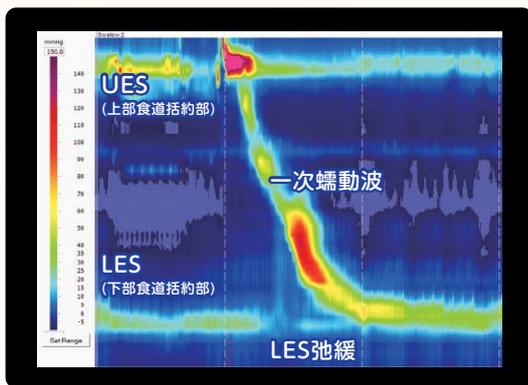


内視鏡検査で異常のない嚥下障害の患者さまを日常診療でよく見かけます。運動機能障害は内視鏡検査で見つけにくい病態ですが、近年、高解像度食道内圧測定機器が開発され、これまでの検査法では分からなかった食道運動障害の診断に威力を発揮しています。従来であれば「あなたの症状は気のせい(きのせい)」と告げていたものが、この検査法で測定すると「あなたの症状は機能性(きのうせい)」と正しく診断できます。この食道内圧測定法は high resolution manometry

(HRM) と言い、径4mmの細い管に1cm間隔で36個の圧センサーが配置されており食道入口部から胃まで全食道の運動を連続的に把握できます。アカラシア、diffuse esophageal spasm (DES)、ナットクラッカー食道のみならず、もっと軽微な運動障害も診断できます。また、PPI 抵抗性胃食道逆流症の患者さまも逆流症ではなく運動障害の場合もあります。

外来検査で施行することができますのでご紹介をお待ちしています。

■ 正常者の運動機能 → 胃食道逆流症と診断されていたアカラシア患者



洛和会音羽病院 地域連携課

業務時間 月～金曜日：午前8時30分～午後8時
土曜日：午前8時30分～午後5時15分

連絡先 地域連携課直通
TEL 075 (593) 7725
FAX 075 (593) 4160
E-mail otowa@rakuwa.or.jp

医療機関予約専用フリーダイヤル ☎ **0120 (607) 489**

ご意見・ご質問・ご要望などございましたらお申し付けください。